

令和6年度 珠洲市立蛸島小学校 前期学力向上プラン

年間のゴールの姿

相手に分かりやすく伝わるように、自分の考えを明確にして、主体的に表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童の課題	現状と要因・根拠となるデータ
相手に分かりやすく伝えるための力が不十分である。	<p>[現状と要因]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段の授業や集会での交流の中で、意見や感想を言う際に、一番伝えたいことや注目したことについて、少しずつ言えるようになってきた。 ○ 問い返しや視覚的手立てを考えていくことで、児童の理解を深めることやねらい達成につながることができた。 ▲ 誤字脱字や主述のねじれなど、相手に分かりやすく伝えるための吟味する力が不十分な表現が見られた。 <p>→ 誤答や資料提示などのねらい達成に迫る視覚的手立てや問い返しをもとに、問いに対する答えを明確に表現するイメージを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5 後期：検証問題 63%，ノート検証 93%，アンケート 94% ・ R5 5年石川県評価問題の記述問題 国語 3(2) 33% 本文の文章の空欄に、2つの資料から分かったことを書く。(自校採点) ・ R5 6年全国学力調査質問紙 「友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」(強肯定 100%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話の内容がねらい達成につながるように視覚的手立てを講じる。 ・ 深めていくための視点を明確にした問い返しをする。 	実施検証「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(90%) 「対話の中で質問や意見を述べている。」(90%) 「深めていく視点を明確にして問い返す。」(100%) 「ねらい達成につながる視覚的手立てを講じる。」(100%) 研究授業「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(80%) 「対話の中で質問や意見を述べている。」(80%) 児童アンケート「考えを聞いて、質問をしたり、意見や感想を言ったりすることができた。」(90%) 全校検証問題「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(80%)	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法 (誰が, いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4・5	授業評価表 (授業者 5月30日) 授業参観シート 児童アンケート (5月22日) 検証テスト (5月20日)		○ ▲ ▲
6	授業評価表 (授業者 29日) 授業参観シート		
7	授業評価表 (授業者 10日) 児童アンケート (11日) 検証テスト (12日) 教師アンケート (16日)		

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手に分かりやすく伝わるように、質問や意見、感想を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会や行事の際に対話の場面を設定し、意見を交流させる。 ・ 100文字作文を全校で交流・振り返りをする時間を設ける。 ・ 7月にアンケートを実施し、授業改善に生かす。 	

令和6年度 珠洲市立蛸島小学校 前期学力向上プラン

年間のゴールの姿

相手に伝わるように、根拠や理由を明確にして自分の考えを表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童の課題	現状と要因・根拠となるデータ
根拠や理由を明確にした表現が苦手である。	<p>[現状と要因]</p> <p>○問い返しや視覚的手立てを考えていくことで、児童の理解を深めることやねらい達成につながることができた。</p> <p>○対話をする中で、自分の考えがより深まることが分かってきた。</p> <p>▲授業では教師の問い返しや視覚的手立て、児童同士の対話から表現できるようになってきたが、検証問題や学力調査では、内容や条件を把握する力が弱く、自力で根拠や理由を明確にした考えを表現することが難しかった。</p> <p>→重点事項や資料活用などの視覚的手立てや問い返しをもとに、問いに対する答えを明確に表現するイメージを持たせる。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期：検証問題 67%、ノート検証 94%、アンケート 90% ・4年石川県基礎学力調査 8(2) 86% (石川県 48%) ・5年石川県評価問題の記述問題 1(3) 2(3) 3(2) 33% (自校採点) ・6年全国学力調査 2(4) 66% (全国 56%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・対話の内容がねらい達成につながるように視覚的手立てを講じる。 ・学びを深める問い返しをする。 	実施検証 「根拠や理由を明確に表現している。」 (85%)	93%
	「対話の中で質問や意見を述べている。」 (85%)	93%
	「根拠や理由が曖昧な部分について問い返す。」 (100%)	100%
	「ねらい達成につながる視覚的手立てを講じる。」 (100%)	86%
	研究授業 「根拠や理由を明確するために表現している。」 (80%)	50%
	「対話の中で質問や意見を述べている。」 (80%)	50%
	児童アンケート 「考えを聞いて、質問をしたり、意見や感想を言ったりすることができた。」 (90%)	94%
全校検証問題 「根拠や理由を明確に表現している。」 (70%)	63%	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
1	授業評価表 (授業者 29日)		震災直後の対面式・オンライン式併用授業のため未実施。 オンライン授業でも、問い返しを行うことで児童の考えを深めることができた。
2	1年生研究授業 (2月26日) 特支 (知的) 研究授業 (研究授業 3月4日) ※検証対象外 授業評価表	75% 93%	<p>○対面の児童だけでなく、オンラインの児童も対話などの意見交流ができるようになってきた。 意見や感想を言うときにはどこに注目したかについて少しずつ言えるようになってきた。</p> <p>▲深めていくための視点をどこにするか明確にして問い返しをしていく。</p> <p>▲オンラインで参加する児童がいた場合、実物や黒板の掲示が見づらいなど、視覚的手立てが難しい場面があった。</p>
3	・ (授業者 2月26日と3月10日)		
	児童アンケート (3月11日) 検証テスト (3月12日) 教師アンケート (3月16日)	94% 63% 95%	

前期 (I期) 取組の成果○・課題▲

○普段の授業や集会での交流の場面では、根拠や理由を明確にして、自分の意見・感想を持って話すことができるようになってきた。

▲検証問題では、根拠を示し表現できるようになってきたが、誤字脱字や主述のねじれなど、相手に分かりやすく伝えるための吟味する力が不十分な解答があった。時間内に解いたり、その後の見直しをしたりして、よりよい表現につなげていく必要がある。

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
----	-------	----

<p>相手の考えに対して、聞いている人に伝わるように質問や意見、感想を言うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・集会や行事の際に対話の場面を設定し、意見を交流させる。・100文字作文を全校で交流・振り返りをする時間を設ける。・3月にアンケートを実施し、授業改善に生かす。	<p>○</p>
--	--	----------